

平成30年度事業計画

磨き 輝き 集うまち 燕

【趣 旨】

これまでも実施してきた「つばめ桜まつり」「酒吞童子行列」の観光イベントの継続実施による賑わいづくり、さらに、本年度で4年目となる観光ナビゲーターによる産業観光の受入れ体制の整備・強化を促進させ、来訪者の満足度の向上、リピーターの確保に取り組むと共にJRのトランスイート四季島の対応を継続して燕市の魅力発信に努めます。

また、昨年度リニューアルした観光協会ホームページや、多言語の観光パンフレットなどを活用しての国内外への情報発信、さらに、DC（ディステーションキャンペーン）のプレ年であることから、燕市の宝でもある匠の技や国上山の自然、大河津分水などを観せることができるよう、資源の掘り起しと、これらを結ぶ周遊観光の構築に取り組んでいきます。加えて、地域観光の基本ともいえる「まちあるき」に力を入れて地域住民の理解と協力を得ながらコースの構築に取り組めます。

また、お客様のニーズの把握や情報発信を的確に行うよう、マーケティング調査等にも取り組んでまいります。

法人化3年目を迎え、観光協会として着実に役割をはたせるよう、各種税管理をはじめ各種業務をとどこおりなく実施できる運営体制の整備・強化にも引き続き取り組んでまいります。

1. 観光イベント開催事業

16,159,447円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 12,868,465円)

燕市の観光イベント「分水おいらん道中」をメインと位置付けた、「つばめ桜まつり」を吉田地区・燕地区でそれぞれ開催します。歴史写真を市内の各所に展示するなど、燕市の一大観光イベントとなった「分水おいらん道中」の歴史・意味合いを広く周知すると共に、市内3高校からの高校生ボランティアをはじめ、信濃川大河津資料館など他団体、市民の協力なども得て、市民一体感の機運醸成をはかり、市外はもとより県外からの誘客取組を継続してまいります。あわせ、次年度に向けた「つばめ桜まつり」の準備を進めていきます。

なお、歴史ある「分水おいらん道中」を安全第一に継続実施できるよう、実施内容の見直しをはかりつつ、地域全体で「おもてなし」ができるイベントとして盛り上げて参ります。

◎つばめ桜まつり 4月 7日(土)～22日(日)

- ・夜桜ライトアップ 4月 7日～22日
大河津分水堤防・JR分水駅・文化会館前中ノ口川堤防
- ・燕市交通公園&こどもの森 さくらフェス 4月 7日(土)
- ・第76回分水おいらん道中 4月15日(日)
- ・吉田ふれあい広場 さくらフェス 4月22日(日)

(2) 酒呑童子行列 (事業費 3,290,982円)

燕市の参加型イベントである「酒呑童子行列」開催にむけ、通年で酒呑童子伝説や酒呑童子行列を案内できる媒体を作成し、酒呑童子伝説や本イベントを広く・正しく周知して参ります。また、昨年同様、市内3高校と企画段階より関わってもらうと共に、国上で開催されるイベントであることから、国上山周辺観光及び行事もあわせ広くPRするため、各団体と連携しながら実施してまいります。

さらに、京都福知山市をはじめ全国の鬼関連自治体とは引き続き交流を行ってまいります。

◎第14回酒呑童子行列 9月30日(日)

2. 観光プロモーション事業	1,500,000円
-----------------------	-------------------

(1) 観光プロモーション事業 (事業費: 1,500,000円)

燕の魅力情報を発信していくためのツールであるパンフレット類の作成や増刷、各種媒体等への広告掲載や、公共施設等への告知展開、各種イベント出展などによるPR活動を図り、燕市の知名度向上と誘客促進を行うと共に関係団体との連携も図ってまいります。

また、効果的な情報発信ができるよう、マーケティング調査も推進してまいります。

3. 受託事業	8,500,000円
----------------	-------------------

(1) つばめ「おもてなし力」アップ事業 (事業費: 7,000,000円)

燕市の新たな観光資源の発掘と既存の観光資源の磨き上げを進め、産業観光のマニュアル化を図るなど、受入体制の整備を行います。「観光ナビゲーター」を活用して、

国内や海外からの企業視察や産業観光等でお越しいただく来訪者に魅力を伝えるとともに、満足度向上とリピーター化を目指します。

さらに地域の観光ボランティアガイド団体等への活動支援を強化して、新たなガイド育成や、観光地のホスピタリティの向上を図り、来訪者拡大とリピーター化を目指していきます。

(2) つばめ情報発信戦略事業 (事業費：1,500,000円)

リニューアルした協会ホームページを活用し、国内外への更なる情報発信を行います。

また、サーバーダウンをふせぐために、サーバー変更等をおこない、情報発信や問合せ対応の迅速化に励みます。

4. 観光資源活用事業

632,000円

(1) 産業観光体験開催事業 (事業費：315,000円)

これまで産業体験の開催場所となっていた産業史料館のリニューアル工事に伴い、新たに道の駅国上で開催し、新たな客層、需要の取り込みを目指すとともに、今後継続実施する上での、調査を行いながら、開催します。

- ・小皿づくり体験 年間11回開催
- ・「木の葉」づくり彫金体験 年間5回開催

(2) 他団体支援事業 (事業費：186,000円)

木場小路萬燈組と横町萬燈保存会が取り組んでいる、地域の歴史ある伝統行事「萬燈」の広報ポスター制作の支援を行うとともに、行事開催の告知を含む認知度拡大に向けた取り組みの協力をおこない、ホームページなどを通し、PR活動を行います。

また、新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王寺大白藤保勝会を支援して地域の「宝」を守っていくと同時に、ホームページで開花状況をこまめに更新して誘客にも努めていきます。

分水拓本研究会の指導により、名僧良寛さまの碑を拓本体験することで、良寛さまの魅力を伝えていきます。

(3) 国上山山開き事業 (事業費：76,000円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡や草花が残る国上山は、近年誰でも気軽に登れることから人

気を集めています。昨年度から山野草の開花シーズンに合わせ、3月末に移行した山開きを、本年以降も同様に3月開催として実施します。

(4) まちあるき事業

(事業費：55,000円)

地域観光の基本でもある「まちあるき」に改めて着目し、テーマやストーリー性のあるコースを作成していきます。現状実施しているガイド有りの「燕三条まちあるき」との連携に加えて、ガイド無しでもマップ片手にまわれる新規コースの作成を検討します。

燕市観光協会運営費

19,956,294円

(1) 運営体制

燕市から派遣職員3名、観光ナビゲーターの臨時職員2名と共に、総務・厚生係、イベント事業係、産業観光推進係の3つの係体制で、より専門性の高い担当配置にて運営体制を強化してまいります。

また、今年度からはじまる消費税の支払い及び「つばめ情報発信」において実施するサーバー変更に伴う通信費の増加が見込まれることから、一層の経費削減に努めていきます。

【参考】

協会が連携している団体組織等

1. 燕・弥彦広域観光連携会議（燕市・弥彦村）
2. 県央地域観光振興会議（県振興局・JR・周辺市町村・経営大学）
3. 燕三条ブランド推進会議（地場産センター他）
4. 新潟県MICE研究協議会（新潟県他）
5. 中越文化・観光産業支援機構（長岡市他）
6. JTB関東交流文化誘致協議会（JTB関東他）
7. 東北観光推進機構（東北6県・JR他）